

No.とプログラム名	No.52 日銀の仕事にチャレンジ！
実施日・回数	8月6日（火）午前・午後、8月8日（木）午前・午後 計4回実施
会場	【中区】 日本銀行横浜支店 会議室
参加児童数	54人
企業・団体等名	日本銀行横浜支店総務課
参加の目的 (150文字程度)	夏休みの機会を捉えて、お子様に日本銀行の仕事やお札に興味をもっていただくため。「日銀の仕事にチャレンジ！」をテーマに、楽しく日本銀行やお金について学べるような機会にさせていただくため。

■ プログラム内容・当日の流れ

1.日本銀行の仕事を知ろう（DVD上映、日本銀行横浜支店の紹介）

日銀の役割や業務についてのDVDを視聴した後、日本銀行横浜支店の歴史や仕事について学びました。

2.お札を見てみよう（偽造防止技術の紹介）

古いお札と新しいお札の違いを学びながら、お札の偽造防止技術を確認しました。

3.日銀の仕事にチャレンジ！（窓口見学、鑑定クイズ）

実際に職員が働いている窓口を見学したほか、日銀の仕事の一つである「引換え」事務にチャレンジしました。傷んだお札の引換基準を学び専用の定規を使って鑑定しました。

4.自由見学（重量体験等）

1億円分のお札や、硬貨の重量体験のほか、会議室内にある展示物を見学し、お金や日銀に関する豆知識を学びました。

5.振り返り会、グループディスカッション（お小遣いの使い方を考えよう）

グループに分かれ、お小遣いの使い方をみんなで話し合い、発表しました。



【硬貨の重量体験】



【お札の重量体験】



【お札の偽造防止技術を確認している様子】



【グループディスカッションのテーマを見て考えている様子】

■ 参加児童の感想

- ・ お札をじっくり見る機会はなかなかないので、偽造防止技術を確認することができて楽しかった。
- ・ 新しく発行されたお札の最新の偽造防止技術についてわかりやすく説明を聞くことができ、面白かった。
- ・ お札には偽造されないように様々な工夫がされていることがわかった。
- ・ 日本銀行の仕事について詳しく知ることができて、嬉しかった。
- ・ 普段気にせずに使っているお金に興味をもてた。

■ グループディスカッション

～お小遣いの使い方を考えよう～

- ・ 友達と一緒に買おうと言われたとき、本当に自分にとって必要なものなら買う。
- ・ 貯金をする（貯金することで将来使うお小遣いが増えて、もっと高いものが欲しいときに買えるかもしれないから）。
- ・ お小遣いの中で、一部は貯金をする。貯金しないお小遣い分を買えそうなら買う。
- ・ 親に相談する。
- ・ みんなでお小遣いの使い方について話し合うことができ楽しかった。

【グループディスカッション後に発表している様子】



【展示物をご覧になっている様子】



【鑑定クイズにチャレンジしている様子】



■ 企業・団体の気付きや感想

- ・「偽造防止技術の紹介」では、古いお札と新しいお札を手元で比べながら、偽造防止技術を実際に確認していただきました。普段じっくり見ることがないお札について興味を持っていただけた様子が伺えました。
- ・「鑑定クイズ」では、クイズ形式で日銀固有の仕事を体験していただきました。お札が火事で燃えてしまったときや破れてしまったときの引換基準をもとに、親子で相談しながら熱心に取り組んでいました。
- ・ディスカッションでは、全員が一生懸命にお小遣いの使い方を考えていた姿が印象的で、参加団体側としてはとても嬉しく感じました。こうした機会が金融リテラシーの向上につながることを願っております。
- ・本プログラムを通じて、お金の流れや日本銀行について楽しく学んでいただけて良かったです。
- ・今後も日本銀行の役割や業務を広く皆さま方にご理解いただけるよう努めて参りたいと思います。